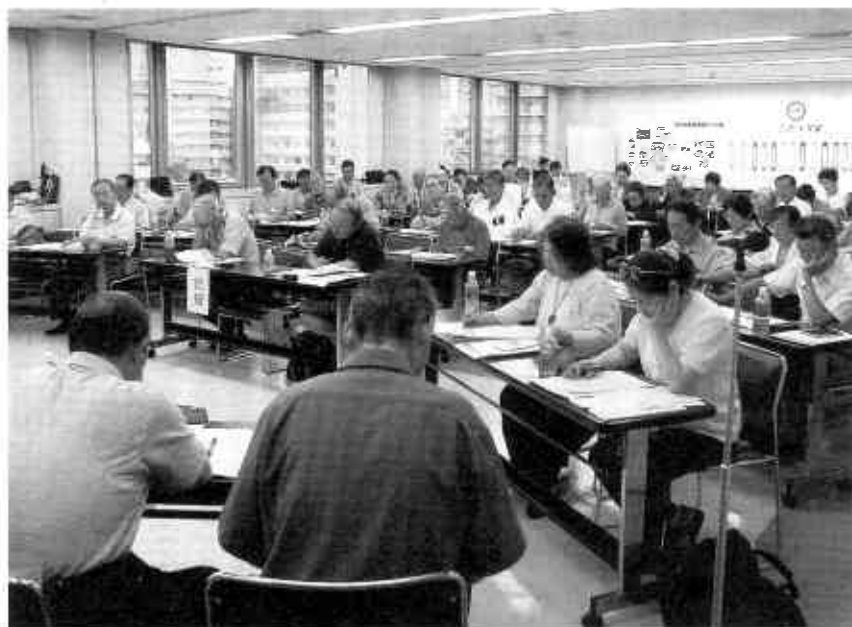


退職者 NO.77

こだま会報



護憲勢力の 前進をめざして



目次

- 第23回(定期)総会報告 1
- 不戦憲法の成立を振りかえる 5
生方武羅夫
- せいかつ短信 7
- 後期高齢者医療制度 13
- 趣味の会 歴史・俳句・予告 14
團基・接農
- 日本高齢者大会 in 横浜 16

憲法を守り 老人いじめをやめさせよう

第二三回定期総会報告(会報七六号二頁参照)

第二三回定期総会が六月二二日(金)午後一時半より神奈川県自治会館七階の会議室で開かれました。

開会・司会は宮下光幹事。

会員総数は一二八五名、出席者は六二名、委任状は七一九名で総会の成立を確認、続いて物故者一八名に黙祷をささげました。

議長に虹川弘子氏を選出し、議長挨拶の後、議事に入りました。

生方代表幹事の開会挨拶(要旨)

本日は雨の中、こだま会第二三回の総会にご参加いただき有難うございます。今年には平和・民主の日本国憲法が施行されてから丁度六〇年に当たります。戦争放棄を規定したこの憲法の存在したことによって日本は六〇年間戦争をしないうでられました。

今、戦後レジームからの脱却が言われ、平和憲法を引退させようとする動きが強まっております。その動きの第一歩と考えられるのが改憲手続法の成立であります。改憲勢力が最大の標的になっているのが、九条の戦争の放棄であります。昨年八月

に発表されました自民党の改憲案がそのことをはっきりと示しています。会議の挨拶としては異例ではありますが、この機会に日本国憲法の戦争放棄条項がどのように成立したのかを振り返っておきたいと思えます。

(別掲五頁参照)

平和憲法は、日本の支配層にとっては押し付けられた憲法だったかもしれませぬけれども、国民にとっては期待・希望を表現したものであるという風になることが出来るのではないかと思います。三年後の改憲手続法の施行までに参議院、衆議院の選挙がありますが、国会で平和を愛する護憲勢力が議席の三分の一を上回るように努めなければと考えます。当面する参議院選挙で護憲の勢力の前進をめざして頑張りたいということをお願い申し上げます。

来賓挨拶(要旨)

神奈川県職労連執行委員長

加瀬文隆氏

私も委員長八年、定年までは二年余りありますが、四月から離籍専従になりました。最後の職場は生活衛

生課の環境班です。温泉事故、プール事故などいろいろありましたが、現場の職員は使命感をもつて働いています。昨今の公務員パッシングは激しくてやる気がそがれる状況です。こうした中で組合として頑張らなければと思います。

平和の問題では、九条の会を広げる活動を皆さんと一緒にやっています。コムスンとかゲットウイルなど、福祉を食い物にする事件が起きていますが、利益を追求する株式会社を福祉事業に参入させた制度そのものがおかしい。年金も基礎年金は税金でまかなうのが当たり前ですね。

大変な時ですが、あまり深刻にならず、楽しみながら、明るく前向きに、住みよい暮らしやすい世の中のために頑張って行きましょう。

横浜市従退職者会副会長

深野忠好氏

皆さんとは現職の頃からのつきあいで、兄弟のような関係ですから、顔を見せて来ていますと言うだけで気持ちに通じるように思います。

孫が三年生のとき、小学校に呼ばれて、大正、昭和の古い頃の生活の話をさせてもらいました。ついでに戦争に行った話もしました。

兵隊に行ったとき何が一番つましかったですかという質問がありました

た。つらいことはいろいろあったけれど、空襲のとき、古い家に住んでいた父母のことが気がかりでつまらかったと話しました。

あとでいただいた感想文では、六割の人が戦争のことを書いてありました。本当に戦争体験者から肉声で聞いたのは始めてのようで、若者に戦争のことを話していくことで、平和・九条を守れにつなげていきたいと思います。

神奈川県高齢期運動連絡会事務局長

新倉昭二氏

今の政府はすでにファッショではないか。増税、医療改悪、高齢者健康保険制度の分離、消費税、戦って政治を変えるしかない。九月一七日～一八日の日本高齢者大会では横浜のバシフィコに県内から二、五〇〇名の参加を勝ち取りたいと思っています。今の状況に怒りを感じて戦おうではありませんか。

次の来賓の方がたからも祝辞を受けました。

中央労働金庫

金労済神奈川県本部横浜支店

アメリカンファミリー生命保険

議事

経過報告・決算報告

(会報七六号二頁参照)

加藤利秋事務局長

こだま会事務局長として四期八年を経過して、次の方に引き継ぎたいと思っていました。またやらせてもらうことになりました。

昨今の状況は、長生きをして悪いような政治がされて、それも年ねん悪くなる一方です。税金、年金、医療、介護様ざまな問題が私たち高齢者を襲っています。

年金制度の一元化に対して、全日本退職者組織協議会の仲間と一緒に署名活動を取り組み、厚生労働省に対し提出し交渉をしている。この署名ではこだま会会員四五〇名から一、一五〇筆を超える署名と切手代金のカンパをいただきました。

横須賀空母母港化の是非を問う住民投票条例請求署名では、横須賀在住会員に受任者になるように呼びかけました。署名は全体で四一、五五一筆となり、法定署名数の六倍となりましたが、市議会で条例案は否決されました。

趣味活動では、今年は農業体験と援農を楽しむ会という趣味の会が生まれ、春秋実施されました。歴史紀行、歴史教室、俳句、囲碁

謹んでご冥福をお祈り申しあげます

(50音順)

荒川 庄司様	76歳	北川 幸雄様	76歳	田久保 治様	51歳
安藤 照雄様	72歳	桑村 国敏様	75歳	中島 礼司様	80歳
伊藤 覚様	64歳	佐藤 富保様	83歳	仲村 昭男様	78歳
今井 志津枝様	76歳	佐藤 忠之助様	79歳	宮川 信勇様	79歳
加藤 勝司様	84歳	志田 匡且様	71歳	本橋 博様	81歳
岸本 正史様	81歳	杉村 勝様	77歳	和田 武雄様	78歳

★この1年間に連絡のあった方です。昨年の総会以前に亡くなられた方を含みます。

同好会、料理教室、北海道スキーなどが多彩に取り組まれました。さらに会員の趣味や特技を生かした趣味の会を広げていきたいので世話人になれる方は声を上げてほしい。

こだま会報も表紙を一新して、年四回延べ四〇ページを発行しました。

七六号の表紙の写真は、新しい事務所
の窓から見える氷川丸と山下公園
です。お立ち寄りください。

会員の勧誘は一、二月の退職者説
明会に参加して、短い時間の中で説
明をし加入を呼びかけました。その
際にはホームページの「知っておき
たい退職後の知識」を印刷配布しま
した。

高齢期運動は共同の取り組みに参
加。憲法九条の会、全国・県退職者
連絡会に役員を出しています。

決算報告

支出は予算項目で八〇〜八五%の
執行となっていますが、広報費は九



〇%です。
経費節減には、一日に会議をまと
め、交通費を減らしている。積立金
会計もほぼ予定通りの執行です。

会計監査報告 古怒田富士一監査

適正に執行されている。経費節減
の努力が認められます。

(経過報告・会計報告・会計監査報
告を拍手で承認)

運動方針(案) 提案

(会報七六号三〜四頁参照)

川井弘次副代表幹事

1、命と暮らし平和をめぐる動き

小泉内閣、安倍内閣のもとで憲法
の形骸化が進み、貧困と格差拡大が
進んでいます。国民投票法案が強行
採決されたが、これには、①投票率
の歯止めがない、②公務員・教職員
については政治活動の禁止というこ
とで縛り、③テレビ新聞報道は金を
出せば自由にできるなどの大きな問
題点があります。

松沢県政は、民間に出来ることは
すべて民間に任せるといふ基本方針
で動かされている。社会保障と教育
の分野では予算が削られている。横
須賀市での住民投票条例請求署名で、

四万人を超える署名が出されたが、
議会で否決されました。市長も市議
会も説明責任を果たしていないとマ
スコミでも指摘しています。

年金問題では、百年安心と宣伝さ
れたが、五、〇〇〇万円の保険料の
納付記録が未処理であり、それを一
年間で処理をすることは出来ない。
うそをつくのが平然と通る世の中だ。
共済年金では二〇一七年までに年金
の一元化をして、年金額が二五〇万
円以上については一割のカットをす
る方針が出されています。

来年の四月から高齢者医療制度が

発足し、今加入している医療保険か
ら退会して、高齢者は全部高齢者医
療制度に入ることになる。月額保険
料は六、二〇〇円といわれているが、
これは七五歳以上の医療費を七五歳
以上の人数で割っただけのもので、
二年後の見直しで必ず上がることに
なる。保険料負担は国・県・市町村
で五〇%、他の保険から四〇%、一
割が本人負担となっているが、県別
の計算なので都道府県で違うことに
なる。今の三五万の病床数を一五万
床にして、在宅医療に切り替える方
針、医療費改悪で自殺者が増え、一
万人の方が孤独死という状況にあり
ます。

介護保険の見直しで、要介護一か
ら要支援二に、介護報酬の削減がさ

れた。移動時間が給与計算からはず
された。無料報酬のボランティアが
いないと施設を運用できない状況だ。
税制改正では住民税が四倍になっ
た人もいる。一方で高額所得者には
税金を下げています。

2、活動の目標と計画

提案した七項目にそって進めて行
きます。特にクローズアップしてい
る憲法の改悪については、反対する
勢力を参議院選挙でのばしたい。参
議院選挙後には消費税を一六%に引
き上げると財界が要請しています。

趣味の会は従来の活動をするにと
もに、新しい分野で世話役をやっ
ただける方を募集しています。
こだま会事務局は毎週火曜日一〇
時から午後四時まで開いています。

予算(案) 提案

(会報七六号四頁参照)

加藤利秋事務局長

会則改正(案) 提案

(会報七六号四頁参照)

生方武羅夫代表幹事

(以上、三つの提案を質疑、討論の
結果、拍手で承認)

午後四時三〇分議事を終わりました。

不戦・憲法の成立を振りかえる

護憲勢力を伸ばすために

生方 武羅夫



(前頁から続く)

んどんふえて発言集も一〇冊になった。高齢者でなければできないことを地域で語り続けていきたい。

○榎本勝雄さん

こだま会の役員の一つに代表委員とあるが、会長とした方がよいのでは。

〈意見と質問に対する回答〉

○生方武羅夫さん

会則で名称が決まっている。名称変更は会則の改正が必要だ。将来、課題になると思うが、いま直ちに改正ということはない。ご理解を。

マッカーサー・ノートが日本国憲法に「戦争放棄」条項を盛り込むとする最初の意思表明でした。民政局では弁護士出身者を中心とするメンバーによって七つのチームを編成し、憲法起草に当たります。その草案には、天皇の象徴化とともに「戦争の放棄」が入りました。

四六年二月一三日、マッカーサー草案が日本政府に手交されます。それを受け取った日本側(松本丕治、吉田茂)はびっくり仰天します。松本は、独立した条項として戦争放棄を規定することに反対し、前文に盛り込めばいいではないか、と主張します。

太平洋戦争の終結に当たり日本が

今年には平和・民主の日本国憲法が施行されてから満六〇年になります。戦争放棄を規定したこの憲法の存在により、日本は六〇年間に亘り戦争をせずにこられました。ところが、いま、戦後レジームからの脱却を唱え、平和憲法も「還暦」を迎えたので、そろそろ「引退」させようとする動きが強まってきています。その動きの一つが、今国会における改憲手続法(国民投票法)の成立です。

この法律の三年後の施行に向けて、改憲論議が強まるものと思われますが、改憲勢力が最大の標的にしているのは憲法九条であります。昨年八月に発表された自民党の憲法改正案がそのことをはっきりと示しています。

そこで、この機会に、日本国憲法の戦争放棄条項がどのようにして成立したかを振り返り、九条の意義を考えてみたいと思います。

が不可能な内容が含まれていました。しかし、東久邇官終戦処理内閣の後を受けて成立した幣原内閣は、憲法改正に極めて消極的でした。

連合国軍総司令部(GHQ)は、当初、日本政府に対し、憲法の自由主義化を示唆しながらも、日本側の自主的な憲法改正の動きを見守っていました。幣原内閣は、一九四五年一月、松本丕治國務相を委員長とする憲法問題調査委員会を発足させ、憲法問題の調査研究に着手しました。

この委員会の当初の目的は調査研究でありましたが、最終的に改正案作りをすることになりました。そして、四六年二月一日、政府は「憲法改正要綱(松本試案)」をGHQに提出。その内容は、天皇の統治大権にはほとんど手をつけず、軍規定も残しており、明治憲法の文言を少し変えるという程度のものでした。

この政府案を見た連合国最高司令官ダグラス・マッカーサーは、日本政府に任せておいたのでは民主的な憲法はできないと判断し、憲法改正に関するマッカーサー・ノート、いわゆる憲法改正三原則

①天皇制の維持、

②戦争の放棄(自衛の戦争も認めない)、

③封建制度の廃止(民主主義の確立)を作成し、これに基づいて憲法草案を作成するよう民政局長ホイットニーに指示します。

それに対してホイットニーは、前文では駄目だ、我われとしては第一項に置きたいくらいなんだ、と言いつ返しします。GHQ側の決意が固いことを知って、日本側は引き下がります。そして日本国憲法第九条が確定します。

ところで、連合国最高司令官マッカーサーは、「アメリカの上院軍事外交合同委員会において、憲法に戦争放棄条項を盛り込むよう提案したのは日本の幣原首相だった」と証言しています。彼はほうほうでそのことを語っていますし、彼の本『大戦回顧録』にも書いています。しかし、幣原提案に関する資料は日本側にはありません。幣原提案説について、国内では賛否両論があります。幣原は英語が得意であり、マッカーサーと二人きりで長時間話し合ったことがあるので、その時そういう話になった可能性はありますが、本人がはっきり語っていないので真相は霧の中です。

日本政府の閣僚としてGHQと折衝した松本らは、憲法はアメリカによつて押し付けられたものと主張していますが、当時の新聞の世論調査によると、大多数の国民は憲法を全体として、また、天皇の象徴化や戦争放棄条項を支持しています。したがって、日本の支配層にとつ

ては「押し付けられた」憲法であっても、国民にとつては「押し付けられたもの」ではなく、むしろ、国民の期待を表現したものでした。

いま進められている憲法改正(悪)の動きこそ、アメリカによつて「押し付けられた」「改正」運動であることは明らかです。ところが、日本の支配層はこれを故意に隠蔽して憲法改正を進めようとしています。これは国民を欺くものです。

さて、戦争放棄を取り入れた憲法は日本が初めてではありません。資料に外国の憲法(フランス・ブラジル・スペインなど)を記しておきましたが、日本国憲法はその中でも最も徹底した戦争放棄条項を持つものです。しかも、現在、有効な憲法です。私たちは、この世界遺産ともいふべき平和憲法をしっかり守り、次の世代に引き継いでいかなければならないと考えます。

国民投票法が成立したいま、次は国会で発議をさせない運動が重要になります。

国民投票法が現実動き出すまでに、参議院選挙はあともう一回、衆議院議員選挙も一回は行われるだろうと思います。平和を愛する人々は、これらの選挙で護憲勢力が、全議席の少なくとも三分の一を上回るように努めなければなりません。

せいかつ短信

短信は一行のもの、ぎつしりと書かれ、裏へ〆などとあるもの様ざまでした。172名の声、寄せられたみなさんの近況・提案・要望などをお届けします。元氣でお勤めの方やボランティア活動に励む方、ゆつたりと生活を楽しむ方、本当に喜ばしい限りです。一方、増税や医療改悪で怒る方、不安な方、体調を崩したり、怪我や闘病中の方がたも多く見られます。不安の解消、一日も早い快復を願っています。

紙面の都合で「総会の成功を」「幹事ご苦労様」などの趣旨の短信は、割愛させて頂きました。なお、順序不同、一部省略や文字の変更しております。

「こだま会報」楽しみにしております。
(吉田 龍子)

本屋でのアルバイトを四月二十九日で六年間やり、やめました。始めは三年長くて五年はと思っていました。ところが、六年になりました。これから文字通り、本読み(既購入本が主)をやっていきたい。CDも全く聴いていない、モーツァルト、ヨハン・セバスチアン・バッハ全集を聴くの

が楽しみです。その前に武満徹もあるか……
(牛尾 隆幸)

元氣です。
(小林 文夫)

自治会の役員、老人会の幹事等、また趣味では月四回のカラオケ、麻雀や野菜作り等の忙しい毎日です。
(毛木 勇)

いつしか喜寿になりました。静かに余生を暮らしております。趣味はパソコンをやっております。
(神保 武)

こだま会報送ってもらいまして有難う御座いました。私も定年退職して二〇年過ぎてしまいました。退職直後には総会にも出席しましたが今は、主人の介護に追われて仕舞います。
(坂間タツ子)

六月一五日から一〇日間の予定で、鳥根県に帰りますので(一七日の隠岐の島マラソン参加を兼ねて)総会には参加できません。「九条の会」「自治体問題研究会」「政治ボランティア」などなどでわりと忙しい日々を送っています。でも退職後の「仕事」は自分の選択によるもので「ストレス」にはなっていないようです。
(中原 保彦)

民間企業の品質保証部長として、もう少し頑張ります。多忙です。現

役時代よりも? 数カ月後には、解放されます。(します)(阿部 毅正)

平日の開催ですので、仕事との都合がつきません。今年こそはと思っ
ていましたが残念です。

(園部 光昭)

奥州街道を歩く一人旅を続けてい
ます。日本橋から現在福島県笠宿
まで約二〇八km宿場を歩きました。
今年度は、二本松宿までが目標です。

(菅野 健児)

来月のバースデイに八一歳になり
ます。

(山本 秋徳)

三月末で再就職先を定年退職し、
毎日が日曜日に馴れるよう訓練中。

(沢谷 広志)

みどりを守り育てることを中心と
したボランティア活動をしています。
また、地元の自治会環境対策に協力
しています。

(市川 清)

旅行の企画が少なく寂しく思っ
ています。出来ればよろしく願
います。

(天羽 忠子)

六月二日保土ヶ谷公会堂にて映画
「日本の青空」を観ました。この国
の現憲法を改悪する勢力はバチあた
り者だと思えます。人間が人間らし
くありたいです。

(村崎 亮一)

母の介護の為欠席させていただ
きます。

(杉原 誠一)

江川さんの近況を懐かしく拝読し
ました。

(金子 幸代)

七七歳まであと半年、至極元気で
やっています。変化を求めて旅を楽
しんでいます。国外より、国内が多
くなってきました。先月は天空の里、
下栗を訪ねて中央構造線の断層谷を
見て来ました。南アルプスと呼ん
で様でした。

(小笠原 勇)

加齢のせいか何となく根気がなく
なり、趣味で描いていた水彩画も休
みがちとなりました。行動する意欲
を失わないよう規則正しい日常生活
を心掛けて、健康維持につとめてい
ます。

(田中 和子)

退職後二〇年余り世の中は益ます
変化の一途、立ち遅れないよう努力
しているつもりですが、外から見れ
ば後れ後れと見られていると思う。
若い人達の手本になれば良いがと思
います。

(金子 ナカ)

皆様の活動状況を会報で楽しく読
ませていただいています。

(大原 茂)

この三月三十一日で自治会長を退任、
四月三〇日で三回目の仕事から解放。
さあ今日からサンデー毎日だ! 木

工に取り組んだら、うれしくて、楽
しくて、夜になっても止められない。
徹夜のような日が数日続き、おまけ
に孫からのウイルス感染を受けて二
日間寝こんでしまいました。仕事か
ら解放されると、寝不足になり、身
体をこわすようです。前の二回のと
きもそうだったな。(戸塚 忠)

年相応位に元気です。鹿島市関連
の事業で「日本書紀」現代語訳の読
書会に週二〜三回行きはじめました。
野菜作りと登山は続けています。

(懸田 護)

古希を迎え、老化現象が現れつつ
ありますが、比較的老化速度が遅い
のは声帯であることを知り、合唱団
に入って最年長者として毎年舞台に
立っています。今年は一二月にオペ
ラに挑戦します。声か、足腰か、暗
譜力か、いずれかがへばるまで頑張
るつもりです。

(今木 恒郎)

喜寿をむかえましたが、年なりに
元気です。

(萩野 喜作)

「こだま会報」ありがとうございます
です。年金生活者の情報があり、あ
りがたいです。今年はエスベラント
の世界大会が八月はじめに横浜で開
かれるので(ホスト側です)外国旅
行は休みです。皆さんのご健勝を祈
ります。

(小山武衛士)

拙著「王朝の挽歌」シリーズ叢文
社より完結発売しました。

(鈴木 良明)

会報の江川公明さんの記事は参考
になりました。私も実母八八才(独
居で要介護五、障害一級)の介護し
ているところです。

(平野 孝雄)

退職後もメンバー(相模地区)に
参加しています。現役の方がたと年
一回の出会いを楽しみにしています。
「こだま会」の方がたも各地区メ
ンバーに参加し交流を深めたいもの
です。

(太田 顕)

足が不自由で参加できません。そ
の他は元気ですが、デイケアに週
二回行って楽しんでます。また息
子たちや孫と食事会などに行っ
ています。

(夏目 邦夫)

退職後一五年を過ぎました。農の
世界に囲まれて、地域での人達との
交流も引き続き、やっております。

(遠藤 正子)

友人の死亡(織田安子)にショッ
ク、こだま会の集いにもごぶさたで
す。私は今のところ健康にめぐまれ
現役で頑張っています。忙しい病院
で大変です。でも働ける事は感謝で
す。

(中村 みき)

三〇数年前同じ職場で親しくして

いた丁さんの楽しい投稿にびっくり、なつかしく感動。そのうち連絡する心算です。今は実姉の介護で一ヶ月のうち、半分は地方での出舎生活。これこそ老老介護そのものです。

(横山 民子)

私がつったお手玉(ソーセージ大)を持って先日老人施設に行きお手玉を使ってもらったところ、後日施設の職員から「情緒不安定な方ににぎらせたところとても安定し介護が楽に出来た」とのことでした。今後も人の役にたてる物作りをしたいと考えています。

(奥津 弘久)

家族が体調をくずし、私が大変でも頑張っています。人生山あり谷あり苦苦(楽)ともにあり、花や緑から元気をもらい、良き友人に逢い、考えすぎないよう無理なく頑張っています。結構、から元気?……でもがんばります。

(難波 ハマ)

湘南国際マラソン四二・一九五kmは白い富士山と碧い海を眺めながら初春の潮風を受け、気持ちのよい、ちよつと苦しい、とても楽しい三時間三三分一六秒のドラマでした。

(渡辺雄之介)

会報楽しく読ませていただきました。年金・憲法・社会福祉の充実のため野党も大同団結して自民党に対

抗する必要があると思います。今回も田舎のオヤジの介護ですので出席できません。

(岡崎 明)

地元の荒廃農地解消ボランティア参加七年目。数ヘクタールの荒廃農地を復旧したが菜園や小規模営農に活用状況。食糧自給率向上には遠く及ばないが農業振興の一つの切り口と思われる。神奈川県農政もホームヘルパー制度等の呼応指導を願っているがさらなる支援を期待している。

(伊東 久)

「こだま会報」を有難く拝見させていただいております。特に身近な年金・医療・介護・税制改悪など、わかりやすく丁寧に記載され、感謝しております。私はまだなんとか仕事に従事していますが、古希を迎えますと、疲れが残り腰痛など体の節ぶしの痛みも多くなり、せめて寝たきりだけにはなりたくない、早日から手当てに心掛けているこの頃です。

(増村 一夫)

せめて同じ会に入っている会員の計報程度は会報に随時のせるべきだと思います。紙面のやり方ひとつではないでしょうか。

(松尾 良文)

退職して早や一〇年、今年古希となる現在、地元の老人会に入り、公園の掃除をしたり防犯のパトロール

をしているが、反対に子供たちから若いパワーをもらっている。これからの人生、多少なりとも地域に役立つていきたいと思っています。

(浜島 正範)

健康保持に努めております。この頃、憲法を巡って論争が盛んですが、不安がつのります。こういう方面の活動も視野に入れてもらいたいと思います。

(山田 勝平)

退職後一九年目の職場も、フルタイムから週二日にしてもらい、ゆとりも出来たので今度は参加出来ると思いい楽しみにしていましたが今度は、家族介護で、出かけられなくなりました。合間をみて、家庭菜園は楽しみにしています。今朝も母が五kgもとれました。我ながら呆れています。近所の老人仲間を母がりに誘ったり車椅子の奥さんに分けたり、皆で楽しんでいきます。

(井上ウメ子)

私こと早いもので今年傘寿もすぎました。昭和六二年に定年を迎えそれからも二〇年光陰矢の如し本当に月日の立つのは早いものと、実感している今日この頃です。毎日が雑用に追われ何もできませんが月日はすぎて行きます。健康に留意して毎日を送っています。

(市川 忠勝)

百歳にならんとする父親の生活へ

ルパーで毎月七百km先まで通っております。出席したいとは思いますがなかなかそうもゆきません。職にも就けません。先行き困ったことになるなど感じております。

(野津 敏子)

「こだま会報」いつも楽しく読ませていただいています。趣味の会もいつも曜日が合わず参加できず残念です。今回の会報でのシニアハウス「福祉マンション研究会」設立の際会員希望します。

(田辺 恵子)

古希を迎え一念発起、中国成都大に語学の短期留学いたしました。久しぶりの寮生活を楽しまました。楽山大仏・九寨沟等世界遺産を訪ねることができました。収穫大でした。

(加藤 幸男)

定年退職後七年目の初夏を自立支援法なる法律の適用される施設で常勤職員として働いています。もうしばらく頑張りたいと思っています。

(福原 忠)

幹事一期で都合によりまして退任させていただきます。とても楽しい思い出となりました。都合の良い時には行事に参加させていただきます。

(塩澤 三郎)

去年の夏、脳梗塞になって右側が

麻痺して身体が不自由になってしまいました。会報はたのしみにおります。こだま俳壇に毎回お出だしになっていきます横川さんの俳句を分らないながらス・テ・キと思います。(海老原文江)

元氣にして居りますが、八六歳、そろそろ忘れっぽくなりまして自分でいやになります。(守田 トシ)

七八歳となりやつと生きています。だんだんと暮らしていく世の中になつてきました。(橘川 順一)

①四月二二日と二八日までパリへスケッチに行き近郊のモレ・シュルロワンとシャルトルのスケッチ、パリ市内のスケッチをしました。ユーロが高すぎて昼めしが二千円もするので、たいていサンドイッチでがまんしました。
②四月三〇日油壺スケッチ会二名参加。五月一九日二一日鹿島槍スケッチ二〇名参加、五月二六日汽車道スケッチ会七名参加など…

(河合 幹彦)

今月もまた一人三〇年来友人の元職員が亡くなりだんだん遊びに来てくれる方が少なくなってきました。それで友達とはなるべく会うことに決めました。現職の方がたは異常な忙しさを皆くたくた。会話のできた

昔が懐かしいですね。このごろの公務員攻撃ひどすぎますね、逆に国民が大変になります。(戸田 晴美)

四年前病気をし左足が悪く歩けません。身体は元氣です。(原島 照寿)

老人会・町内会その他の会(趣味)に入会していますが毎月会報があるのに会費は千円です。こだま会の会費三千円は高いと思います。(向笠 信夫)

また、楽しいニュースをお願いします。(三宅 杏子)

「こだま会報」趣味活動の記事に心動かされると、時間を、もつと大切につかわなくてはと考えさせられます。(藤島 昭江)

おかげさまで現在、コンサルタントに勤務、営業活動をしています。(島津 要二)

元氣に卓球をやっています。(西原 明夫)

私は認知症の叔母と母のことで頭の中いっぱいです。激動の時代(大正生まれ)を体験してきた老人を粗末にはできません。ストレスの多い日びですが元氣で明るく面会を実行しています。只今は介護が優先です。(今井 洋子)

あと四ヶ月で七八です。歩行ままならず。年齢に勝てず残念。(原口 明郎)

四月初旬に、ルビーハウスに入居いたしました。今が潮時と考え…独居ですと、いろいろ大変です…。(富田 幸子)

昨年までは、古城や寺社めぐりなど歴史探訪の旅を続けて来ましたが、最近とみに足腰や内臓の諸機能の劣化がめだつて来たようです。健康維持のため、近隣の散策がおもな日課となつています。(坂本茂三郎)

いつも「こだま会報」などで情報をいただきありがたく感謝しています。退職して一九年が経過しましたが近所の仲間と元氣で過ごして居ります。(小林 滋樹)

「こだま会報」精読しています。(桜井 哲雄)

今年から少しずつ仕事を少なくしのんびりムードを目指しています。(小山 兼治)

退職して二〇年たちました。電車に乗って横浜までは行かれませんが。(歌川 安子)

総会の日は勤務があり失礼させていただきます。退職して早一三年に

なります。(川島 大)

「こだま俳壇」に友人・知人の句がいつも拝見され楽しませてもらっています。(田野倉一夫)

政府の施策の過ちを棚にあげ、行政の責任に転嫁した、社会保険庁廃止は現場の実態を知らない無責任な決定と言わざるを得ません。実に残念です。公務員はいつも政府の奴隷です。今さら愚痴はいいたくないけど！(大澤 常雄)

協力できない事申し訳なく思っております。また「こだま会報」ありがとうございます。いつも楽しく拝読させていただきます。(柏木 允)

高血圧症と共生しながら一病息災、犬と遊びつつ、庭仕事をしながら過ごしております。(遠山 淳)

ゴルフ・パークゴルフ・大正琴等趣味を持って友達と親しく楽しい生活をしています。(小宮福太郎)

退職者こだま句会で頑張っています。(島田多嘉子)

ふるさと「大分」に戻ってはや満六年になりました。年一度上京で、都会の空気と旧友と楽しく過ごさせて頂いております。(村松美知子)

最近では足が弱くなり病院通いも大変です。がんばって生きています。

(福地 一正)

元氣です。(田内 大)

週二回(四百年)の家庭菜園(四百坪)三〇種の野菜作りをしたり年間八〇回の軟式野球練習、還暦、古希、グラン・ド古希の県大会、NPO生涯野球、関東選抜大会で三度優勝し八月の全国大会も決まり頑張っています。五月は一ヶ月間アメリカの友人と京都、金沢など旅行し、六月中旬より一ヶ月間イリノイ州に滞在しアラスカのマウントマキンレーで遊覧飛行したり、リバーボートクルーズを楽しみ、シカゴでメジャーリーグ・ホワイトソックス対オリオールズ戦観戦予定です。忙しい毎日を元気に過ごしております。

(齋藤 孝治)

多面的な楽しい企画をいつも、ありがとうございます。(横井 博)

妻の介護で外出がままなりません。

(松本 吉弘)

昨日地方税の納付書が来ました。ああ！何とすごい金額にびっくりしました。そんな話も聞きたいので皆様にお目にかかりたいのですが…

(榎本恵美子)

残念ながら体調をくずしております

(平能 芳子)

して欠席いたします。会報に虫のお話がありました。私も何年前か前までは虫見学に行くことが出来ましたが。現在は、どうにもなりません。

(我妻 洋子)

中国大陸から黄砂の吹き込み、地球が小さくなったのか。なんてつまらぬことを思いながら、百二年前の日本海海戦：一日海軍記念日：大口本帝国憲法が復活しそうな雲行き、しかし、日本国憲法の方が長生きしているんだよね。まともに生きよう。

(大野知多夫)

ゲート・ボールの審判(二級)資格を取り、県大会や市町村の大会で頑張っています。

(堀内 薫)

煩わしさのない毎日と思っておりますが、年金生活者も世の動きにますます目が離せません。

(鈴木 義朗)

遊びも兼ねて演劇鑑賞協会ボランティアなどでまだ忙しくしています。

(行谷 愛子)

変わりなく過ごしています。

(浅原 ミヨ)

夫が週三日の透析中ですので勝手ながら欠席させていただきます。

(平能 芳子)

この四月に故郷富山に帰ってきました。当地は食べ物・空気の美味しい所です。元気に過ごしています。

(上田 豊子)

難聴のため普通の会話に不自由しています。専ら図書館の娯楽本を楽しんでいるところです。(森 融)

体調をくずし長男の所に世話になってます。(腰部脊柱管狭窄症)入会当時の事を懐かしく思い、皆さんにおあいできないのが残念です。

(湊 ふみ)

定年退職して、早いもので、約二〇年になります。最近、戦前に逆戻りする政治が行われています。孫たちを戦場におくりたくないですね。

(木島 良夫)

おかげさまで何とか元氣であります。

(吉澤 良美)

まあまあ生活です。

(林 和平)

五体の補修に追われています。

(早川 幸子)

昔は苦にせず通った横浜が遠くなりました。胃が手術後八年、やせた身体ですが、なんとかそれなりに太極拳などをやり生きています。それにしても、日本は、地球はどうなるのでしょうか。老骨にむちうって頑張ればと思っております。

(吉井 進)

八〇歳になりました。さすがにアチコチにガタが出て残り時間を心配しています。

(辻本 操)

高舟台自治会の防犯部において、日常的に活動しております。毎日パトロールしておりますので元氣です。

(篠崎 惣一)

将来は再軍備・戦争・敗戦の道を再び歩むのでしょうか。(入間川昭遠)

(入間川昭遠)



散歩と読書とパソコンで元気に過ごしております。(小島 工)

お蔭様で元気に働かせて戴いております。今年もまた鮎の季節。鮎の友釣りに始まり夢中になる夏がやってきました。これも皆様のお陰と思っております。(鈴木 教夫)

昨年末から今年一月にかけて目の手術をりましたが現在通院治療中です。(家城レイ子)

幸い健康に恵まれ、自然の中で野菜作りを楽しんでいます。(近田 近)

今後の年金について政策の方向ご努力下さい。(池田とし子)

「退職者こだま会報」役立っています。年金のこと、後期高齢者医療広域連合のことなど、勉強になります。繰り返しインプットしています。(桜井 ふみ)

郡山へ来て早や一年になりました。今年、各名所の桜・とくに三春の桜感激しました。大桑原のツツジこれもまたみごとでした。山形方面にも足をのばし、主人と毎日をすごしております。(石田 澄子)

右足の踵の骨折も治り趣味のバードウォッチングを楽しんでいます。(塩沢 徳夫)

四月の小田原市議選で、二期目の当選を果たすことができました。(五

二歳で退職)県職員としてまた県職労の一員として学んだことを大切にしながら、ふるさとのために、地方自治の推進を図るために、微力を尽くしています。(木村 信市)

元氣ですが旅行と重なり今回は欠席します。(溪流釣りのため)山形・秋田方面。(志賀 幸生)

家の中に籠もりがちで、全く井の中の蛙ですが、会報のお陰で幾分なりとも世間を感じる事が出来ます。(建畠 富廣)

如何にせん年と体調不良により出掛けることが出来ず残念です。会報の情報を楽しみにしております。(朝日 信義)

箱根町企画課に勤務しております。温泉資源の保護対策が主な仕事です。休日は登山をしています。この夏から秋には白山・荒川三山・剣岳などに登る計画です。職場では平和の大切さや組合づくりの重要性を話しています。(久保寺公正)

口頃、郷土史を研究していますので機会があれば、参加したいと思っております。その節はよろしく！(金子 信男)

都合が悪く、出席出来ないのが残念です。「こだま会報」は楽しみにしてみています。(平川千恵子)

健康に注意して、健康食品適度な運動、地域住民活動などに協力しています。健康のため吟詠をやっています。腹のおくから力一杯発声する声が、体に良いと思います。吟をはじめ今年で三〇数年になります。(鹿郷 真弘)

相変わらず元氣でいます。(平野 拓男)

週二回介護保険事業所ディケアーセンターでパートをしています。(小澤加代子)

わが先輩の児玉さんがいなくなつて我々同窓生(旧宇都宮農専)がいつも思い出を語り合っています。(坂本 孝八)

逢いたくて思う心はあるけれどなにもかもなくいつも元氣で。(小澤 房男)

歳を重ねることってのは淋しいものですね。やつと七〇才を越えて分かりました。なんとか無事息災にしております。いつ転ぶかわかりませんが。(岡本 孟)

折おりに古寺を銀塩カメラで撮り

歩きしています。そのうち鎌倉五山にも足を延ばそうと思っております。(日比野貞美)

行事のお便り頂きながら私用(太極拳とコースに参加月二回ずつ)と重なつたりとなかなか参加させて頂けなくいつも残念なことが多いですがなるべく参加したいと思っております。よろしく！(船橋 雅子)

お蔭様で元氣です。毎年のこの集いが楽しみです。(鈴木 公彦)

福祉専門学校の非常勤講師をクビになりました。厚労省の監査で。理由は、福祉事務所での管理経験がないとのこと。日頃の社会福祉士のレベル向上の学びで、国の福祉後退に攻撃したい。またシャンソンやうたごえ、ジョギング、登山、水泳、テニスを楽しんでいます。(湯川 勉)

会報に掲載されてました会員様の話のとおり退職したらカミさんと一緒に車で日本中を旅行するのが夢でした。退職後二年が過ぎ現実には孫が二人生まれ、八八歳の母親の介護に毎日忙しく、そして今年の四月にはその母親がなくなり、人生は甘く見てはいけないと悟りました。(新倉仙太郎)

毎年のように、カナダのウイスラースキー場に行っていました。今年はおーストリアのヒンタートックスで最も標高の高い三二五〇メートルの氷河スキー場で滑ってきました。七五歳の私ですが、まだまだ滑れそうです。
(榎本 勝雄)

毎年出席する返事をして欠席ばかりしてはすいません。今年こそは、と思っています。
(山崎 重夫)

非常勤で勤めた三年目の九月、胃ガンと診断され、三ヶ月入院の末〇七年の二月にこの世に戻ってきました。いつ再発するかの不安はありますが、今の今を元気に暮らしたいと思います。
(砺波 靖夫)

俳句の仲間、農業体験の仲間達との出会いに感謝しております。
(小川 政則)

こだま会総会で懐かしい皆様にお目にかかれるかと楽しみにしております。八〇歳を超しましたが、おかげ様で元気に薬膳にとりくんでおります。夏には、中国四川省の世界遺産を尋ねるのをたのしみしております。
(上野多恵子)

昨年は病気のためご心配をかけましたが健康になりました。一病息災で楽しく余生を過ごしたいと思いま

す。
(古怒田富士一)

四月に不整脈で一〇日以上入院しペースメーカーも入れました。薬も飲んでいますがこれが眠くなるので困ります。外へ出るとやはり疲れますが、組合のは年金のこととかも話がありますので出席します。
(関 節子)

憲法をめぐる状況はますます急を告げています。「9条の会」だけやっていたら良いとは思えません。大規模集会やデモの計画があれば会員にお知らせする。新聞意見広告を募る。

インターネットでの国内、国際署名を募るなど、国民、市民に見える運動をたたみかけたものです。こだま会から県職労連、県労連へ、さらに全労連や連合も含め広く広く呼びかけてください。私自身も毎年新聞意見広告に参加しています。
(江川 公明)

厚年協・グラントゴルフ等で多忙です。
(柊澤 寛)

地域のボランティア活動や農作業に毎日元気で過ごしています。
(小山 直次)

家庭菜園の出来を観ると市場の野菜の高値にびっくりしています。物の鮮度も安全度も全く問題になりませ

ん。早朝の外気に触れ健康の喜びを味わっています。こだま会の幹事も後少し頑張れるつもりです。北海道スキー一〇年続いているツアー来シーズンはどうなるか、年に一度はあの富良野スキー場の冷気に心身ともにリフレッシュのつもりで参加したい気持ちがあります。健康に恵まれた幸せを味わっています。それにしても世の中あまりにも悪い方に進むスピードになんとしてもブレーキをかけないと。退職者会の活動に期待甚大です。
(叶井 進一)



(出会い・感動・学び) こだま会

「歴史教室」へ参加してみても。自分のことがわかってくる(人生観の発表の場)やる気・楽しさを教えてくれる。たとえば、寺巡りから①正直②慈悲③融和など、自分の弱点がわかってくる。皆さんも積極的な参加を!
(佐藤 喜治)

毎朝四時に起きて、カナダの長男やニューヨークの弟にメールしてい

ます。ゴルフ・ウクレレ・折り紙、料理教室など忙しいけれど元気です。今年の一二月には鎌倉芸術館で五日の「第九」の練習(三百人)を一五回ぐらい行い、千二百人の観客に喜んでもらいたいと思っています。秋には、カナダの長男に会いに行く予定です。
(中原 四朗)

六月一日の歴史散歩は、楽しかった。
(村木美喜雄)

再任用職員として県立図書館に勤務しています。二年目です。
(野村 晴男)

海外旅行中で出席できなくて残念です。
(佐藤 七夫)

産業技術センターで非常勤で働いています。全国的に非正規職員の割合が年々増えています。私の職場も同じです。早朝ジョギングと高校時代のクラスメイトとハイキングを二か月に一回ほど行っています。地球温暖化が急速に進むなかで、悪事も加速しています。国の将来に不安!
(佐藤 榮一)

体調不良の方がた

(相馬孝彦、長瀬 昇、金子正雄、古郡義男、鈴木志げ子、杉山久子、岩沢 実、石川和善、江川光雄、細江恒秋、大島照治、牧田耕二)

◇後期高齢者医療制度とは

昨年、政府・与党が強行成立させた「医療改革法」による新しい保険制度で、来年四月から実施されます。

この新制度が実施されると七五歳以上の高齢者と六五歳以上の寝たきり高齢者などが、いま加入している国保や健康保険からはずされ、この「後期高齢者医療保険制度」に組み入れられます。

現行制度との大きな違いは、家族に扶養されている人を含め、すべての後期高齢者(七五歳以上)が保険料の負担を求められ、年金を月一万五千元以上を受けている人は、保険料が年金から「天引き」で徴収されます。

厚労省は全国で約千三百万人が対象になると推計しています。

◇保険料はどうなるのか

保険料は、各県ごとに今年一十月に決められる予定ですが、厚労省の試算では平均月六千二百円、年額で七万四千四百円にもなります。

また、この保険料は二年ごとに改定され、高齢者が増えるのに応じて、自動的に引き上げる仕組みになっています。

◇「年金天引き」は

介護保険料も併せて

年金が年額一八万円以上の人は全

国平均の保険料(六千二百円)と介護保険料(平均四千九〇円)と併せ、毎月一万円以上が天引きされます。

しかも、年金の半額まで天引きできるとされており、低年金者からは生活できない人たちが続出すると思われま

◇保険料が納められない場合は

これまでの制度では、七五歳以上

りありません。

しかし、病院などに支払われる診療報酬は、七五歳以上の高齢者の場合、「心身の特性にふさわしい」などという口実で別建にして、格差をつけようとしています。

七五歳という年齢で機械的に繰引される医療差別は、高齢者の生存権をおびやかすものです。

◇制度の運営はどこがやるのか

医療情報

医療費は上る

保険料も上り年金天引きに

後期高齢者医療制度

の高齢者は、障害者、被爆者などと同じく「保険料を滞納しても、保険証を取り上げてはならない」とされてきました。

新制度では、これをくつがえし、保険料を滞納すれば容赦なく保険証を取り上げる、となっています。

◇医療費の窓口負担は変わるのか
新制度でも当面、窓口負担は一割の人と現役なみ所得(夫婦二人世帯年額五二〇万円)の人は三割で変わ

りありません。
運営は県単位に新たにできた「広域連合」が運営します。
広域連合には議会が設けられ、医療制度にかかわる自治体の働きをします。
神奈川県では二〇人の議会議員がすでに選出されています。
その内訳は人口比から横浜七人、川崎三人、横須賀、相模原各一人、他の一五市で六人、一四町村で二人となっています。

◇保険制度の財源はどうなるのか

財源は、患者負担分を除いて、七五歳以上が一割、現役世代が四割、公費五割(国三、県一、市町村二)となっています。

この現役世代が負担する保険料は、基本保険料と高齢者医療保険料を納めることになり、高齢者と現役世代に、対立分断をもちこむものとなります。

◇高齢者に加わる新たな負担増

来々四月から医療費の窓口負担が七〇歳以上七四歳未満の人は二割に引き上げられます。また、六五歳以上の国保の保険料も年金から天引きとなります。

ここで気になる点は、夫七五歳、妻七五歳未満の場合、国保に残る妻は国保世帯主となるのか、課税の扱はどうなるのか、明らかになっていません。

七五歳から死ぬまで独自の保険料を徴収し、医療を制限するのは「早く死ぬ」と言わんばかりの制度ではないでしょうか。

(加藤利秋)

楽しい趣味の会

趣味の会は、長生きの散歩道
と一緒に歩きましょう!!

快い興奮 白黒の戦い

囲碁同好会

囲碁との出会いは、採用された最初の職場でした。その当時はあまり熱心ではなく、スポーツや他のゲームに夢中だったと思います。五〇歳代に移動した職場で、高段者と打つ機会に恵まれ、再び石を握ることになりました。退職間近には、棋力二級前後だったと思います。

平成一七年退職と同時に友人にさそわれ、こだま会の囲碁部に向くようになりました。色いろな

棋力の人と打ち碁の面白さ楽しさにのめり込み、今ではこだま会以外にも、友人知人と打ったり地元の碁会所にも通い碁力の向上にがんばっています。上達については亀が歩むごとくですが、初段への厚い壁をいつか打ち破りたいと思っています。

囲碁は静かなゲームですが盤上で繰り広げる白黒の戦いはハラハラ、ドキドキの連続で勝つても負けても快い興奮が得られます。囲碁をきっかけに多くの人と出会い、囲碁につきあひ下手な私を助けてもらっています。(日比俊彦)

護憲頑張ろう

懇親会

6月22日(木)、総会終了後、16時30分から神奈川自治会館の「レストランはま風」で懇親会が開かれました。

七夕に先立ち再会する顔と顔。「増税が凄いな」「ホントノホントノ」「膝が痛くてね」「俺も」「私も」。でも「護憲頑張ろう」の多くの声でした。

楽しい一刻、参加49名でした。



歴史教室・散策 葉山・逗子の シーサイド景観を楽しむ

講師・ガイド 中村猪一郎会員 (コース) 逗子駅(10時) ↓バス

で横須賀芦名ー浄楽寺(仏像拝観)・前島密の墓 ↓バスで葉山ー玉蔵院・森山神社 ↓一色海岸で昼食 ↓森戸神社 ↓鐘摺 ↓バスで逗子駅(15時30分) 参加10名

6月11日(月)、梅雨入り前ながら強い日射しの晴天に恵まれた散策日和でした。逗子海岸から葉山海岸、長者ヶ崎、横須賀芦名のシーサイド景観を定期バスで楽しみました。葉山しおざい公園は、園内清掃のため休館でした。

以下、訪れたところです。

浄楽寺

文治5年(1189)和田義盛の創建。大仏師運慶作の阿弥陀三尊像と不動明王立像、毘沙門天立像が安置されている。(重要文化財)阿弥陀の右足爪先が前に出て動きのある運慶の特徴をみる事ができた。

前島密の墓

浄楽寺の墓地の高台に、我が国の郵便事業の発展に尽力した氏の墓と碑がある。

玉蔵院

真言宗の葉山町最古の古寺。境内に雄雌が分かる三鉢の唐申堂が

こだま俳壇(五・六月句会)

母の日や娘より贈らる髪飾り 鈴木しげ子

持てあます乳房の痛み弥生尽 三井 光子

薫風や護憲の団扇太鼓行く 中村 桂子

どっかりと座って草引く八十路かな 白石 為康

住民税二倍が増えて梅雨にいる 横川美代子

春爛漫花盗人となりし妻 鳥海 敏雄

養豚にかけし若き日誦植うる 小川 水草

笑い声はじけて走り風薫る 湯川 勉

糞残し鬼押し出しのヒカリゴケ 井村 友彦

風一陣かっこうの声樹樹くぐる 木村 武子

病みし目に夏の日眩し手びたいす 白井保次郎

雨上がり茂みの中に句碑ありし 島田多嘉子

日陰の椅子一つが涼し湾風げる 山本つぼみ



浄楽寺境内にて 撮影：佐藤善治

ある。

森山神社

玉蔵院と共に天平勝宝年間(749)に良弁僧上が創建。稲田・農作の神、櫛稲田姫が祭神。三ヶ岡(大峰山)を脊にして神殿、舞台などが作られている。

森戸神社

源頼朝により治承四年(1180)、三鳥明神の分霊として創建。境内は森戸浜に面し景勝地。「森戸の夕照」は有名。

鏡摺(山)

頼朝が馬で上がった時、鏡が岩にすれたことからこの名がある。小山の頂に三浦氏の墓がある。

(湯川 勉)

男性2名の参加で元気が増した

食文化を楽しむ会

8月26日(木)、横浜の西地区センターで、薬膳料理―夏を健やかに過ごすために―が開かれました。会場が変ったため、大探しで汗を流した方もいました。

メニューは ①梅干しをきざんで混ぜたご飯 ②冬瓜など野菜たっぷりスープ ③鰻かば焼き入り野菜味噌いため ④酢のもの ⑤フルーツポンチ いずれも夏バテを防ぎ、体を活性化する食材入りです。

男性も鮮やかな包丁さばきを見せ、味見もちよつと物たりないかなどとみんなでワイワイガヤガヤ。

青沼さんが完成した品を写真撮影、詳しいレシピと一緒にこだま会のホームページに載っています。どうぞご覧下さい。(木村)

予告!! 予告!! 予告!!

● 囲碁同好会

こだま会員の親睦と碁力の向上を目指して、楽しく遊びましょう。これから碁を覚えたい方、大歓迎です。

とき 9月2日(日)、10月7日(日) 11～15時

ところ 囲碁サロン有心

横浜駅西口大洋ビル6F

会費 七〇〇円

申込み、問合せ先

こだま会 TEL 045-212-3179

青沼慶祐 TEL 045-782-7665

● 俳句教室

今回は9月13日(木) 13時30分

10月18日(木) 16時

ところ 県職労連こだま会事務所

費用 五〇〇円

問合せ先

小川水草 TEL 042-742-2253

こだま会 TEL 045-212-3179

● 歴史教室・講義

初心者・大歓迎!

テーマ 平清盛をめぐる

女性の明と暗

とき 9月10日(月)13時30分～15時30分

ところ 県職労連5F会議室

参加費 無料

講師 中村猪一郎会員

申し込み先 TEL & FAX 045-361-0112 佐藤喜治

● 料理教室・県職労壮年部共催

秋野菜の揚げ煮十きのご飯

野菜を揚げてから、煮物仕たてに

第13回手作り文化祭

神奈川県自治労連退職者会の恒例のお祭りです。10月21日(日)10時

横浜の市従会館で開かれます。

手芸・絵・カラオケなどで一日楽しく過しましょう。出品・

出演できる方は、こだま会事務所までご連絡下さい。

みなさん、誘いあわせてご参加下さい。

とき 10月6日(土) 10～16時

ところ フォーラム南太田

京浜急行南太田駅下車

徒歩3分

費用 二、〇〇〇円

持ち物 タオル・エプロン

申込み 県職労連本部松尾さん、

またはこだま会まで。

TEL 045-212-3179

とき 11月頃

ところ (未定)

テーマ 冬を健やかに―風邪予防

の薬膳料理

講師 上野多恵子会員

会費 一、八〇〇円

申し込み先

こだま会 TEL 045-212-3179

TEL 045-332-4601

亀井禎子

高齢期運動

第21回日本高齢者大会2007 in 横浜 に参加しましょう

年金給付の引き下げ、医療保険制度、介護保険制度の改善、税負担の強化など、いま、高齢者のくらしは深刻の度を加えています。

また、改憲手続法(国民投票法)の成立に伴い、今後憲法九条を改めようとする動きが強まろうとしています。

このような状況下で、我われも手をこまねいていたら、社会保障制度や憲法の改善が一気に押し進められることは必至です。

この時期に日本高齢者大会が横浜

で開かれることになりました。高齢者のパワーを結集

し、大会を成功させ、高齢期の生活を豊かなものにしていきましょう。

なお、こだま会では会員の大会参加費(一日三、五〇〇円、一日間六、〇〇〇円)を負担します。参加希望者は八月三〇日までに郵送又はFAX(〇四五―二二―三二一七八)でお申し込みください。

◎とき 九月一七日(月)午後一時から九月一八日(火)正午まで

◎ところ 「パシフィコ横浜」会議センター・国立大ホール

横浜みなとみらい21地区、J R桜木町駅下車徒歩一三分

講座・シンポジウム・分科会

9月17日(月) 13:00~16:00
会場 パシフィコ横浜・会議センター

高齢者のくらしを考える上で特に有益と思われる講座等を掲載します。

1 学習講座

第1教室

- ① 高齢者の生活をめぐる実態
- ② 後期高齢者医療・予防重視の医療政策とは

講師 篠崎 次男 301号室

第4教室

- ⑦ 高齢者のくらしと人権保障

講師 鈴木 恵 501号室

2 分科会

第1分科会 医療構造改革と医療保障 (特に後期高齢者医療制度中心)

講師 相野谷安孝 304号室

第2分科会 介護保険制度「改革」との対応

講師 片野 一之 311+312号室

全体会

9月18日(火) 9:00~12:00

会場 パシフィコ横浜・国立大ホール

記念講演 「老人の怒りが いま大きな力に」
なだ いなだ氏 (精神科医・作家)

○基調報告 ○文化行事 ○各分野の報告

憲法の平和主義の大切さと

「改憲論」の動き

「神奈川県職員九条の会」は七月六日、かながわ県民センターで「平和のつどい」を開催。四二人が参加。「こだま会」のメンバーも多数参加しました。

まず「県職員九条の会」会員のとりにくみとして、「にのみや・おおいそ九条の会」の高木さんと、「相模原市と地域九条の会」の小川さんが報告。いずれも「こだま会」会員で、高木さんは県庁退職後、二宮町でホームページを立ち上げ、「九条の会」の結成を呼びかけ、「憲法をまもるトークと音楽の夕べ」の取り組みなどを報告。小川さんは、故郷(長野)の小さな村で百人を超える戦没者を出した経験などを話し、地域の暮らしのなかでの取り組みの大切さを強調しました。

記念講演は、弁護士の高東正彦さんが「神奈川県から考える憲法九条」と題し報告。「横須賀母港問題を考える市民の会」の共同代表でもある高東さんは、



原子力空母の横須賀配備問題を問う住民投票条例制定をめざ

す四万筆を超える署名運動などを紹介しながら、

憲法の基本理念(個人の尊厳・幸福権の追求・基本的人権の尊重)とこれらの基礎となる平和主義の大切さを強調。さらに「国民投票法」の成立とともに具体化している「改憲論」の動きを鋭く指摘しました。

「県職員九条の会」は今年の一二月に大集会を計画しています。「県職員九条の会」や地域の九条の会への参加など、できる運動をどんどん進めていきましょう。(鳥海敏雄)

編集 後記

・会報36号から77号まで
「委員の顔の見える会報」と、広報委員長を勤めました。みなさんの励ましご協力に感謝!!
・パトンは編集キャリアア十分の鳥海敏雄さんに。今まで同様にご協力を!!
・参院選、自民党大敗、今後の展望が期待か?
・暑さの厳しい折です。健康第一に!! (木村)